



これは何でしょう



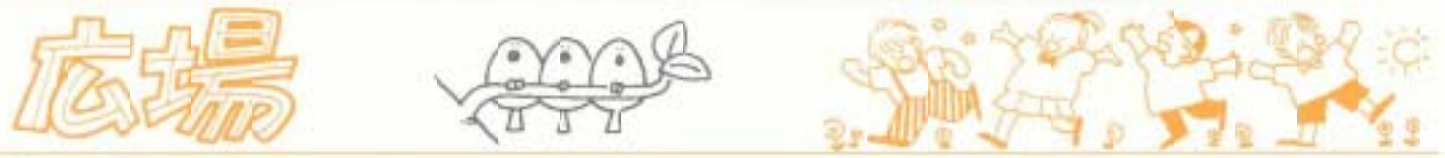
答えについての思い出などもお待ちしています。

- しめきり 10月15日(休)必着
- あて先 〒783 南国市大浦甲二三〇-1 南国市企画課 親子クイズ係
- 賞品 正解者の中から抽選で5人の人に図書券を進呈
- ◎第2回親子クイズの答えは、クリでした。

- 第193回当選者発表(敬称略)
- (応募総数28通)
- 山田 薫(福生)
 - 西岡 春葉(緑ヶ丘)
 - 浜田 富美(久枝)
 - 山田 幸代(野田)
 - 上田 成子(後免)

☆ ☆ 思い出がいっぱい ☆ ☆

- ◆今年もお彼岸が近づいて来ました。お墓参りの帰りにいつも栗を拾って帰ります。大きな栗の木なんです。(浜田 富美)
- ◆栗といえはもう秋ですね。若い時には、よく、栗ひろいに行っていたものでした。いがは痛いですが、甘くておいしかったです。(猪野 真理)
- ◆山でたくさん取って食べたことがあります。とげにささったことが何回もあります。(竹内 彰)
- ◆これからは栗の季節となりましたね。僕は、「天津あまぐり」が好きなんだけど手が…。(松木 伸介)
- ◆これから遠足、運動会と登場する機会が多い栗です。栗と言えば、そんな行事を思い出します。(松下 章訓)
- ◆栗をみると必ず小学校の時の運動会を思い出します。ビニール袋いっぱいゆでた栗を母が持ってきてくれて、それをスプーンですくって食べました。(相田 春葉)



11月10日(日)

土佐日記つらゆき時代まつり開催決定!!

つらゆき・小町役は関西お笑い界の人氣もの、大助・花子に決定。盛り上がる「時代まつり」

市商工会は、地域の活性化を目指して、かねて計画のあった「つらゆき時代まつり」を開催します。

メイン事業は、「つらゆき行列」で、つらゆき・小野小町・重臣・衛士・女官ら約百人が古装束を付けるほか、稚児行列、まほろば囃子なども加わり総勢二百人の大平安絵巻を再現します。

午前中に国府の紀貫之邸跡で門出の祭りを実施した後、地方車で市内をパレード。そして、大湊に向かい、午後はおめん町商店街を練り歩きます。三合場の丹入川親水公園では、「時代絵巻の宴」が開かれ、お茶会や琴の演奏などを披露し、平安情緒を楽しめます。

今、甦る!! 「紀貫之」門出の行列

九十三人の実行委員は市民の総参加で「全国に誇れるイベント」にして、ごめん商店街の活性化を、「と重気込んでいます。」

主催する市商工会では、「つらゆき行列」に出演するボランティアを、次の要領で募集しています。

■年齢：十八歳以上
の心身健康な人

■募集人員：男性 五十七人 女性 十四人

- 役柄：大助・花子ふんする「つらゆき」「小野小町」のお供としての重臣や女官など
 - 衣装：平安時代の古装束(当日支給)
 - 報酬：無償
 - 当日の食事は、準備します(当日の食事は、準備します)
 - 申込締切日：十月十五日(火)まで
 - 応募多数の場合は、抽選
- *なお、歌人としての「紀貫之」顕彰を目的に、短歌なども事前募集され、当日会場とその周辺で歌評会・表彰式などが開催されます。募集期間は、九月十日(火)から十月十五日(火)まで。
- ※申し込みと問い合わせは、市商工会事務局(☎6413073)まで。



第39回金婚式

手を携えて半世紀

昭和二十一年の結婚から長い風雪に耐え、手を携え合せて半世紀。戦後の激動期を助け合いながら過ごしてきた夫婦の金婚式祝賀式典が、九月一日、県内六会場で開催され、史上最多の千五百十三組が出席。このうち南国市・香美郡下の市町村の式典は、グレース浜すしを会場に行われ、南国市では五十組のご夫婦が晴れの舞台に立ちました。



金婚式祝賀式典は、高知新聞創刊記念事業として、始まり今年が三十九回目。式典はまず、高知新聞の報道写真で振り返る「一紙張りの五十年」と題したビデオを上映。



浜田市長らの祝辞の後、祝状と記念品が贈られ、出席夫婦を代表して、国分町の田内稔治さん夫妻が謝辞を述べました。式典が終わると、苦菜をともにした五十年に思いをはせ、金婚夫婦の記念撮影が行われました。



短歌

大川の流れを見つめ鶯一羽
浅瀬の石にみじろがず佇つ
西島 門田美枝子

道場のトンぼのなきがら片せて
しばしたたずみ虫の声聞く
大浦 田所 忠幸

若竹や墓石のふちにひよっこりと
伸び伸びており葉すれさやかに
立田 北村 幸江

何百の音それぞれ集めてとぶ
ジェット機は一日屋根を渡るがす
駅前町 林田 幸子

俳句

迎え火を運る火を焚き家を守る
大浦 高石 杜枝

厄年に母買ひ呉れし單衣千す
大浦 凡内 好子

宮までの試歩にも別れて秋は赤ぬ
藤原 橋本きよ女

残り夏年中夏もなく日焼け止め
緑ヶ丘 細美じほき

川柳

生き延びて不足ないとは口ばかし
十市 大家寿恵子